

# それいけ! 社協



高鍋社協広報誌

no.11 2024.10



PICK UP

# 集って囲んで 地域食堂が始まって。



よし、食べよう！



毎回 50 名ほどの地域住民がご飯を食べに集う「蚊口ふれあい食堂」。会場となっている蚊口学習館は、朝から調理室や大広間がボランティアの方々の笑い声や活気で賑わいます。みなさんこの日の時間を待っていたかのよう。今年 9 月には活動 1 周年を迎えました。立ち上げから今の活動までどんな思いなのか、運営のみなさんに伺ってみました。



おなかすいた！

この日のおかずは具沢山の冷やし五目そうめん。デザートまでついていました。みんなで食べるから余計おいしいに決まっています。

## 一ふれあい食堂を始めたきっかけは？

失われつつあった「人が集まる場」を作りたいと思っていたので、社協の担当者から地域食堂の話聞いたとき「蚊口地区でしたい!」と思いました。誘い合って仲間が増えていき、今ではボランティア登録者は 26 人。毎回 12 人くらい集まっています。それぞれに得意なことがあって一人じゃできないこともみんなでやると何でもできるんですよ。それぞれを認め合う雰囲気が蚊口地区にはあると感じています。

盛り付けや配膳は、メンバーの方を中心にボランティアや社協職員みんなで担当。その場にいる誰でも輪に入れるのも地域食堂の魅力です。広報する人、食事を作る人、食堂のセッティングする人と、それぞれの得意を生かし活躍するボランティアの皆さん。「この歳になって人の力になれることが嬉しい」と話してくれました。

## 一活動の中で大切にしていることは？

食事だけでなく、人とのふれあいを大切にしています。みんなで食べると会話が生まれてつながりができます。参加者が笑顔になって「また来ようかな」って思ってくれたら嬉しいです。

## 一ボランティアを始めて良かったこと、大変なことを教えてください

良かったことは家での食事作りのレパートリーが増えたこと、家族にも好評です。料理番組を見てもなかなか覚えられないレシピも、みんなで作って食べると覚えるんですね。大変なことは調理場にエアコンがないことです。扇風機をつけていますが夏場はかなり暑いので、お互いに「大丈夫?」って声かけながらやっています。

## 一子どもボランティアも活躍しましたね

そう!色んなことに気づいてくれて、すごく存在感があります。黒板に献立を書いたり、会場に机を軽々と運んでくれたり、上手におかずを盛り付けしてくれたり、とても助かっています。ボランティアメンバーの小学 2 年生のお孫さんも毎回来てくれて入口セッティングや受付係をしてくれるんです。可愛くて参加者も喜んでますね。

## 一これからこういった地域食堂を始めたいと思っている方へ

一人で抱え込まずに協力者が集まった時に始めるといいと思います。三人寄れば文殊の知恵で色んな知恵が出てくるんですよ。あとは続けていくことが大切だから、食堂の開催頻度も無理しなくていいのかなと思います。



お昼前にかけて地域の方がぞくぞくと訪れます。この日をきっかけに久しぶりに会って声をかけあう場面もちらほら。参加者はおいしい食事とおしゃべりで楽しい時間を過ごしていきます。「ここに来て皆さんと話すのが元気になる」「私が来ないと心配する人がいるんです、来月も参加しますよ」と笑顔の方も。

## 食堂のはじめかた

### どうやって食堂をはじめのの？

「子ども(地域)食堂に興味がある、やってみたい!」そんな思いを抱いたら、ぜひ高鍋社協にご相談ください。お話を伺いながら思いを形にできるようバックアップします。右の流れは、開催当日までのおおまかなイメージです。

高鍋社協に相談する

地域向けに説明会を行う

打ち合わせ



具体的な運営について主催者と考えていきます

- ・どんな食堂にしたいか
- ・開催時期や場所はどうか
- ・備品(食器、調理器具等)の準備について
- ・食堂開催までのスケジュールについて
- ・どんな方法でお知らせするか

開催のお知らせ

献立を決める

仕入れをする

食堂開催

蚊口地区の方はどなたでも参加できます!

蚊口ふれあい食堂に遊びに来てみませんか?

一緒に運営するもよし、食べにきてだけでもよし、ご参加お待ちしております。

お問合せ 高鍋町社会福祉協議会 ども(地域)食堂応援団 ☎0983-22-4076

# 能登半島地震 災害ボランティアセンター派遣をへて

年明けに起きた能登半島地震。全国からボランティアが現地へ集う中、高鍋社協では職員2名の派遣を実施しました。



高鍋社協  
竹原主任

派遣先と期間  
経験を入れて

石川県  
穴水町  
R6.2.22 ~ 2.26

現場での業務

## 石川県の対策本部にて各避難所の実態把握

保健師のチームに福祉職として帯同し、避難所生活を送っておられる方の生活実態の把握。

指定避難所には配食や炊き出し等温かい食事の提供があったが、自主避難所にはレトルト・インスタント食品・缶詰等の配給しかないなど、避難所の違いにより受けられる支援に差があることに驚きました。大きな災害になると行政機能も麻痺し対応には限界があります。行政任せにせず、住民一人ひとりの心構え（物資だけでなく）が必要だと改めて思いました。地域の繋がりはもちろん、災害時に支援を要する方たちは自ら発信することも大事。ボランティアはいつかはなくなります。地元主体・自立支援という視点でサポートすることが重要であり、熱い思いだけでなく、冷静な思考が大事だと学びました。



高鍋社協  
久保田主任

派遣先と期間  
経験を入れて

石川県  
珠洲市  
R6.5.23 ~ 5.27

現場での業務

## 珠洲市災害ボランティアセンター運営

ボランティア活動の中での注意事項の促しや、被災住民から寄せられたニーズの聞き取りを行い、それを人員とマッチングさせるなどの業務。

まず、珠洲市の社協職員だけでなく、多くの方が被災により退職されていることに驚きました。知らない土地で支援するにあたり、緊張感をもって業務に当たることを心掛けましたが、命は助かったものの避難生活の長期化によるストレスや生活再建への不安など被災者の思いを間近で見聞きし、被災者の思いに伝えたい気持ちがある反面、ボランティアとしての限界があることに葛藤もありました。大きな災害に備え、普段から地域の繋がりを意識し、支え合う気持ちが大事なのだと感じました。



## 宮崎キャンノンさま



### 寄付品

生活用品・  
食料品等

### 協力いただくようになったきっかけは？

これまでも CSR 活動として、リサイクル事業への取り組みや、絵本の寄贈など行ってきました。さらに、高鍋町への貢献が出来ないかと考えたときに「お膳部」への協力できると考えました。

### 寄付いただいている内容は？

社員全員に「お膳部」への取り組みを知っていただき、提供頂いたものについて高鍋町社協に寄付を行いました。これからも『共生』をテーマに、地域と共に活動を行っていきます。社員全員に「お膳部」への取り組みを知ってもらうことも大事だと感じています。

## おもいやりのお裾分け



寄付品はお膳部の活動へ  
あてられています。

## オーパス高鍋店さま



### 寄付品

スナック・駄菓子

### 協力いただくようになったきっかけは？

前任のマネージャーから継続的に行っていくよう社内で引き継ぎがありました。

### 寄付いただいている内容は？

主に弊社で景品となっているお菓子類を提供させていただいています。新たな取り組みに「地元農家さん応援企画」として、地元の農家から野菜などを購入し、県内 7 店舗でお客様に配布するという事業を行っています。今後も地域貢献の中で私たちにできることを展開していきたいです。





解決  
たっしげ君

第9話 こども食堂編



脚本: ai



赤い羽根共同募金  
ってなんだろ？

赤い羽根共同募金は、昭和22(1947)年から続く募金活動で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」として、全国で取り組まれています。高鍋町でも毎年10月1日から来年3月31日まで行われています。



高鍋では主に4つの事業に役立てられています

お膳部の活動



18歳以下のお子さんがあるご家庭で、生活に困り感を抱えている世帯に、月に一回食材等をお配りしています。

社会福祉大会



毎年10月1日、町民の日に福祉の功勞があった方に対して表彰を行っています。

広報事業



社協の活動報告や地域福祉への取り組み、啓発・PRなどを定期的に発信しています。

各団体への助成



申請された団体の事業に対して助成を行い、それぞれの活動に役立てられます。

高鍋社協では年に一度、募金の報告書を発行しています。



お知らせ

11月17日sun  
社協まつり開催!

社協主催で開催する年に一度のイベントです。みなさんのお越しをお待ちしています。協賛品も募集します。



総合福祉  
高鍋社協



高鍋町社会福祉協議会の財務情報はホームページに掲載しております。

今回の取材は、感染症予防対策をしっかり行いつつ、撮影時のみマスクの着用を控える形で取り組みました。ご協力いただきありがとうございます。

発行 社会福祉法人 高鍋町社会福祉協議会  
宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋300番地 ☎0983-22-4076  
令和6年10月発行